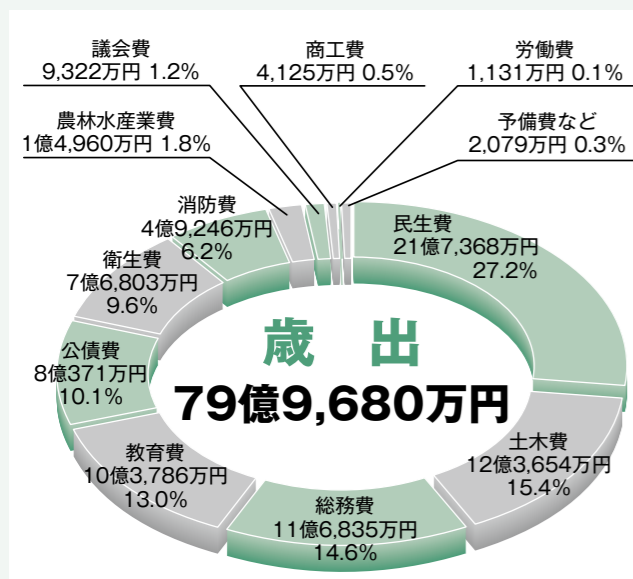
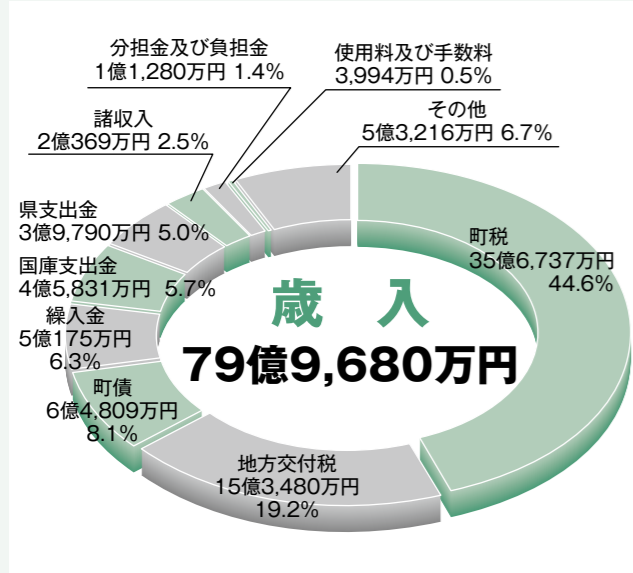


平成21年度各会計予算

会計別	予算額	前年度対比
一般会計	79億9,680万円	+0.4%
特別会計		
国民健康保険	34億8,213万円	-1.6%
老人保健	55万円	-99.7%
公共下水道事業	14億6,447万円	-7.0%
農業集落排水事業	4,319万円	-0.1%
介護保険	16億1,787万円	-4.8%
後期高齢者医療	2億5,036万円	-0.2%
水道事業	10億7,106万円	+0.4%
合計	159億2,646万円	-2.5%

一般会計予算の内訳



桜をみながらのお買い物（4月4日、桜市）

**■前年度予算より4億86万円の減収**  
平成21年度各会計当初予算は、総額159億2646万円、前年度より4億86万円の減収となりました。一般会計は、歳入歳出総額79億9680万円、前年度より3180万円の増収となりました。

**■町税などが減収**  
歳入面では、平成21年度地方財政計画により、地方交付税および臨時財政対策債による措置が講じられる一方、

**■基金の取り崩し**  
歳出面では、交通安全施設の整備、有料駐輪場の整備、都市計画道路宮代通り線の整備、道仏地区土地区画整理事業、さらに後期高齢者医療、介護保険会計などへの繰出金などが主なものです。しかし、新年度も財源不足が生じ、財政調政基金から4億6千万円を取り崩して予算編成しています。

景気後退の影響などにより町税、譲与税、交付金は減収が見込まれています。

予算総額159億2646万円で  
新年度事業がスタート

安心・安全、教育など重点に

3月定例議会

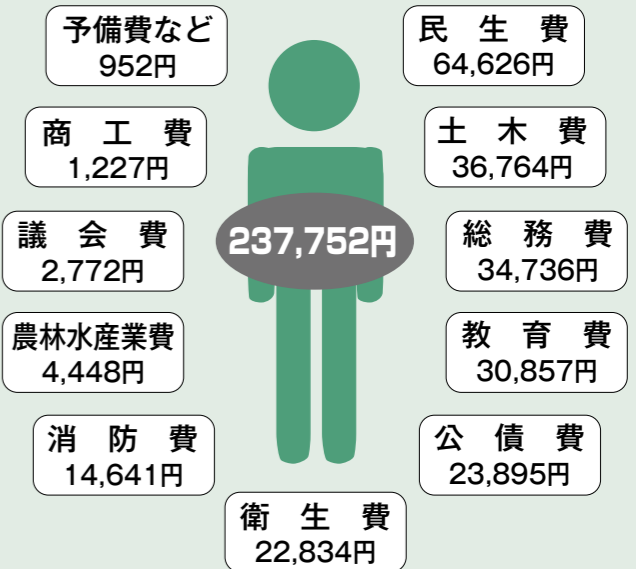
3月定例議会は、2月26日から3月30日までの33日間わたって開かれました。町長から平成21年度一般会計予算や国民健康保険条例の一部を改正する条例など27件が提案されましたが、1件については、不備があり撤回されました。26件については、原案どおり可決、同意しました。議員提出の「保育制度の充実を求める意見書（案）」は全会一致で可決し、国へ提出しました。町民から提出された「1市2町の合併に関する住民投票の実施を求める請願」は、採決の結果、賛成6・反対7となり、不採択となりました。一般質問では、13人の議員が質問に立ち、町政をただしました。



# 予算を徹底チェック

平成21年度各会計当初予算については、2つの常任委員会が審議しました。  
 委員会では、それぞれ5日間にわたって質疑を行い、徹底チェックしました。

## 一般会計歳出予算の町民一人当たりの金額



## 総務・財政



今年度中に作られる男女共同参画計画

主な使いみち	
納税推進事業	206万円
男女共同参画社会推進	11万円
地域コミュニティの活性化	1,821万円
集会所施設整備事業	2,486万円
各選挙執行事業	2,868万円

## 男女共同参画の策定は21年度

**問** 「公共改革プログラム2005」の完了はいつか。  
**答** 平成20年度末を最終期として取り組んできたが、今年度末で76項目が完了見込みだが、10項目が未完了のため、実施期間を2年間延長する。

**問** 集会所の耐震化のスケジュールは。  
**答** 36箇所の集会所のうち、町所有が18件、地元所有が4件の計22件が耐震の対象。

**問** 耐震化は町所有が3か年計画で年6件、地元所有が2か年計画で年2件行う。  
**問** 男女共同参画計画の策定はいつまでに作るのか。  
**答** 平成21年度中の策定を予定し、パブリックコメントも予定している。

**問** 広域利根斎場組合負担金の37万円の減の理由は。  
**答** 斎場組合の積立金を取り崩した分が負担減となっている。

## 生活・環境

主な使いみち	
通学路安全対策事業	244万円
側溝等清掃堆積物運搬業務	190万円
自転車有料駐輪場の整備	2,776万円
防犯灯の維持管理	1,752万円
自主防災活動に対する支援	501万円

## 町内循環バスの運行変更は1月

**問** 町内循環バスの運行計画を年度途中の1月に変更した理由は。  
**答** 1月からの変更は、運行が年末年始で休みということで、バス停の変更にも支障がないからである。有料化に合わせてコースの変更も考えたが、新橋通り線の開通と合わせ、今回1月に変更した。

**問** ISO14001の自己宣言ということは、これまでどこが違うのか。  
**答** 今までは登録機関による審査を行ってきたが、登録認証をやめて、自己責任で行うということ。具体的には、審査の代わりに内部環境監査に無償できていた、外部監査員を招いて客観性を担保すること。

**問** 鳥インフルエンザの死骸処理はどのようにする。  
**答** 県の目安として10羽以上の死骸の場合、対応することになっている。



町内循環バスは生活の足です

## 健康・福祉

主な使いみち	
障害者の地域生活を支援	3,112万円
中学生以下の医療費助成	5,990万円
子育て支援センター運営	673万円
予防接種、BCG接種	3,717万円
妊婦健診、発育健診	1,464万円

## 新型インフルエンザへの具体策は

**問** 新型インフルエンザへの具体的対策は。  
**答** 感染症対策キット（防護服など）を100セット購入する。行動計画の策定は、県内では宮代の他に2市だけである。

**問** また、通常のインフルエンザ予防接種の勧奨もしている。  
**答** 生活保護世帯が増加しているが、その要因は、特に高齢世帯、母子世帯が増えている。高齢世帯

**問** 保育園の待機児童数は、また延長保育は。  
**答** 待機児童数は0人。姫宮保育園では定員60人に対し、72人受け入れている。延長保育は、保育所により午後6時30分から7時まで行っている。



健康体操で気分も一新（寿大学）



## 反対です

討論

### 雇用・景気対策は最優先課題にすべき

- 不況から町民のくらしや生活を守るための対策が求められているときに、小・中学校の学校給食費の値上げや、国保税の引き上げが行われる。
- 保育料は高く、3歳児以上では県内トップクラス。保護者の家庭を圧迫しており、子育て支援の立場からも、保育料の引き下げを求める。
- 春日部市への編入合併については、住民投票による町民の意思を確認することもなく、短期間で合併を進めようとしている。
- 今年度も道仏地区土地区画整理事業に2億791万円の血税をつぎ込む予算となっている。この財源は他の必要な事業にまわすべきである。
- 町立図書館を指定管理者へ委託するよう再検討されているが、図書館運営は利益を追求する民間企業になじまない。
- 雇用・景気対策が町の最優先課題として位置づけられていない。制度融資の改善や住宅リフォームの実施、集会所の耐震診断・耐震改修を前倒ししてでも進めるべきである。

## 賛成です

### 住民サービスの維持継続に努めた予算

- 納税環境の整備に努めると共に、徴収対策の強化に取り組み、収納率向上に努めている。
- 暮らしの安心として、乳幼児検診で心理相談時間の充実を図るとしており、さらなる子育て環境の充実にも努めている。
- 「学校応援団」をさらに生かし、子ども応援の環境づくり、教育活動を進めるとしている。
- 東武動物公園駅西口の活用について、関係3団体によりさらに具体的な協議を進め、土地利用のあり方を決めるとしている。
- 放置自転車対策のほか防犯にも効果のある、東武動物公園駅西口、姫宮駅西口の駐輪場の整備を進めるなど、安全なまちづくりに取り組んでいる。

### 願わくは宮代町の特徴を出してほしかった

- 住民に「夢を見させません。要は住民の理解・協力次第です」という予算でメリハリも利いていません。が、全体的に無駄、無理がない堅実な予算編成であり、賛成できます。
- 農の資源を活かす施策を、また地域事情を熟知する女性の関わりを施策に生かしてほしい。



新学年始まる。「いってきま〜す」

### 主な使いみち

小中学校少人数教育の実践	4,868万円
小中一貫教育推進	266万円
外国人英語講師派遣	1,056万円
総合運動公園管理運営	5,999万円
公民館管理運営	461万円

## 教育・文化

### 「学校応援団」の活躍を

- 問** 「学校応援団」のさらなる活動は。
- 答** 学校応援団の分野は3つあり、安全パトロール（330名くらい）、学習ボランティア（60名くらい）、環境ボランティアであり、環境ボランティアは募集中である。小学校単位で組織した「学校応援団」の活動を生かし、地域の方々と共に、子どもたちを応援する環境づくりや、地域の総合力を生かした教育活動を進める。
- 問** 総合運動公園が指定管理になったことによる利点と課題は。
- 答** ミズノブランドを生かし自主事業を幅広く展開し、施設の効率的活用になっている。町外の参加者もあり、多くの利用者を集めている。当初は清掃など徹底していない点もあった。また利用時間厳守ということで、利用者には不便な点もあった。

### 主な使いみち

都市計画道路整備	1億1,000万円
地区生活道路整備(807号)	6,886万円
動物公園駅西口街づくり	1,505万円
道仏土地区画整理事業	2億 791万円
一般住宅耐震診断・改修	500万円

## 建設・土木

### 動物公園駅西口前の検討状況は

- 問** 動物公園駅西口駅前整備事業について、検討の具体的内容は。
- 答** 21年度は今までの検討を踏まえ、今後の土地利用の方針、駅前広場などの都市計画決定や用途地域変更を見据えた検討を行う。22年度以降は東武鉄道との協議が必要だが、都市計画決定や用途地域変更を行い、早期に事業化していきたい。
- 問** 区画整理地内のスーパーの開店は。
- 答** 5月末に工事着工、11月末から12月初めにはオープン予定と聞いている。
- 問** 公園の遊具設置工事についての考えは。
- 答** 21年度は、20年度の定期点検結果、撤去したものの代替として設置する。改定された「安全確保に関する指針」に沿う必要があるため、地元区長などと相談し、設置していきたい。



工事中の宮代通り線とスーパー出店予定地（左側）  
（道仏地区土地区画整理地内）



間もなく田植え、出番を待つ早苗（新しい村で）

### 主な使いみち

地産地消・産地作り	536万円
用排水路の新設・改修	429万円
用排水路の適正管理	665万円
商工業の振興	1,265万円
メイドイン宮代事業	159万円

## 農業・商工

### 新設アンテナショップの活用を

- 問** 動物公園駅西口に新設のアンテナショップの内容面積は。
- 答** エスカレーター脇の場所を改装して使用する。面積は約18㎡。商業振興策の中で商工会から提案された。メイドイン宮代商品の販売や観光案内をしていく。
- 問** 農業経営者参入促進事業として参入者の現況は。
- 答** 20年度は2つの団体が参入し、合わせて13、214㎡を貸し付けている。その後、新規の参入者はない。
- 問** 田んぼの埋め立てが多いようだが、環境を守る基準は。
- 答** 農政の立場では農地改良ということになるが、土地が低く湿田化してしまうため耕作しにくいなどの理由から申請がある。隣地の同意書、隣接道路から30センチまでの高さ基準がある。



# 特別会計予算 の概要

## 国民健康保険

■予算総額（歳入・歳出）  
34億8213万円

1.6%の減

■主な歳入

国民健康保険税

9億2605万円

国・県の支出金

10億6176万円

前期高齢者交付金

6億7797万円

一般会計繰入金

2億6140万円

■主な歳出

保険給付金

23億4917万円

後期高齢者支援金等

4億0545万円

介護納付金

1億7200万円

問 国保税介護分の引き上げは、現下の経済情勢を考えるといかがなものか。

答 国保介護分の不足額4000万円全額を被保険者に求めることは、負担が大きすぎるため、今回激変緩和措置として、半分とした。

問 ジェネリック医薬品に対する町の取り組みは。

答 ジェネリック医薬品の普及拡大は医療費削減に多大な効果があると考えている。町薬剤師会と調整を図りながら、検討していく。

## 介護保険

■予算総額（歳入・歳出）  
16億1787万円

4.8%の減

■主な歳入

介護保険料

3億7737万円

支払基金交付金

4億3899万円

国・県支出金

4億9129万円

一般会計繰入金

3億955万円

■主な歳出

保険給付金

14億4618万円

問 平成21年度から認定調査方法が変更になるがその詳細は。

答 1点目は、認定調査方法の見直しで、調査日当日の事実確認を重視し、認定調査員テキストの改正が行われている。2点目は、介護認定ソフトの改定であり、調査項目が多いことや要支援2と要介護1の振り分けが難しくなっている。

問 最新のデータに基づくとソフトの開発を行い、調査項目を82から74項目に見直した。3点目は、認定審査会における審査方法の見直しで、審査判定にばらつきが出ないように判定の方法を統一したことである。

## 後期高齢者医療

■予算総額（歳入・歳出）  
2億5036万円

0.2%の減

■主な歳入

後期高齢者医療保険料

2億0495万円

一般会計繰入金

4490万円

■主な歳出

後期高齢者医療広域連合納付金

2億4528万円

問 保険料を特別徴収から、口座振替に変更した人数は。

答 平成20年10月から28人、12月から10人

問 被保険者証は、運転免許証と同じくらいの大さきのため、紛失や捨ててしまう人がいるので、大きさの変更は。

答 国民健康保険の被保険者証の大きさなど考慮し、カード型の被保険者証とした。様式の変更にはシステム改修が必要であり、多額の費用を要するため、変更する予定はない。



いつまでもお元気で！

## 公共下水道事業

■予算総額（歳入・歳出）  
14億6447万円

7.0%の減

■主な歳入

使用料

2億1663万円

繰入金

5億9252万円

町債

5億9170万円

■主な歳出

下水道費

2億5401万円

流域下水道費

8554万円



下水道整備状況

公債費

11億1991万円

問 桃山台地区の供用開始に向けての整備状況・世帯数・負担金について

は。

答 桃山台地区340世帯の管渠整備は完了しており、4月1日の切り替えを予定。受益者負担は第3負担区となり、1㎡当たり430円である。

## 農業集落排水事業

■予算総額（歳入・歳出）  
4319万円

0.1%の減

■主な歳入

使用料・手数料

758万円

一般会計繰入金

3560万円

■主な歳出

農業集落排水費

1776万円

公債費

2342万円

問 受益者負担金はいくらか、未納はあるか、また、使用料は。

答 分担金が30万円、当初の計画世帯（組合員）からの納金は完了している。使用料は基本料として2000円で、さらに1人300円を加算したものとなる。

## 水道事業

■予算総額  
10億7106万円

0.4%の増

・給水件数

1万3347件

・年間総給水量

404万㎡

・1日平均給水量

1万1076㎡

問 アスベスト管の残っている地区はどこか。

答 配水管については道仏地区、その他は、第1浄水場の水源井戸の導水管である。

## 平成20年度一般会計補正予算

地方の活性化および生活対策を趣旨とした国補正予算による定額給付金給付事業などの実施に伴う事業に。

- ・定額給付金給付事業 5億2,539万円
- ・子育て応援特別手当事業 1,536万円
- ・商工業振興事業 500万円
- ・地域活性化・生活対策臨時交付金 5,737万円
- ・地域活性化・緊急安心実現総合対策交付金 549万円
- ・介護従事者処遇改善臨時特例交付金 1,626万円



定額給付金の受付開始

## 人事

### 固定資産評価審査委員を再任



わたる 手島 氏 (笠原)

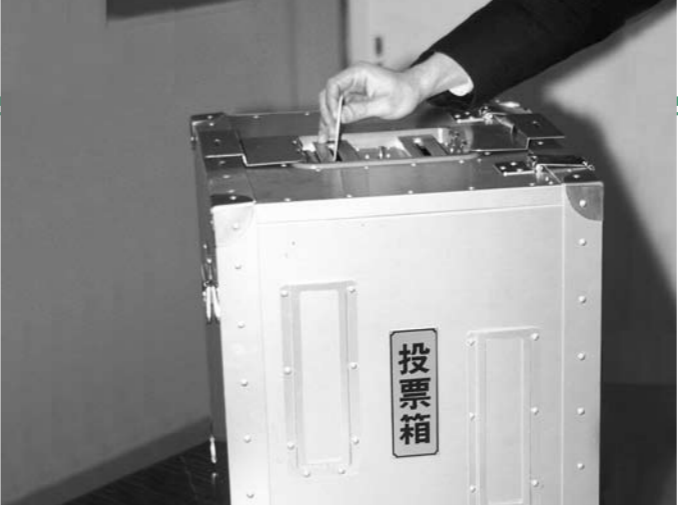
固定資産評価審査委員に手島互氏を再任することに全会一致で同意しました。任期は平成21年4月1日より3年間です。



# 「1市2町の合併に関する住民投票の実施を求める請願」賛成6・反対7で不採択

代表者他601名の連名で提出された請願は、3月9日開催の総務町民生活委員会では採択されましたが、最終日の3月30日の本会議では賛成6、反対7の1票差で不採択となりました。ここでは、総務町民生活委員会での審議概要と本会議での反対・賛成討論の要旨をお知らせします。

はじめに紹介議員から請願が読み上げられ、その後、「合併問題は住民自らが治める自治の範囲を変える問題であり、住民の暮らしに直結する問



題であるので、将来に悔いを残さないよう住民一人ひとりが判断して、住民の総意を明らかにした上で議会で判断することが、住民自治の本旨を実際の機能させること」との補足説明がありました。補足説明の後、質疑が行われました。

住民投票は議会制民主主義を補完するものであり、重大案件の判断の際に、議会や町長が直接住民の意思を把握する手段として行うもの。

今回の合併問題は、先のアンケート調査で明らかになっている。この結果を受け、昨年9月議会で合併推進の決議がさ

れ、合併研究会が立ち上がり進行中だが、どんな目的で住民投票を行うのか。

先のアンケート調査は合併の是非でなく、あくまでも合併の枠組みを選ぶものであり、イコール合併とはならない。研究会で新たな問題や違いが出てきたら、改めて住民に示し、新たな判断を仰ぐのは当然のこと。

最終的には議会が決定すべきと思うが。

アンケート調査は、あくまでも意向調査である。意向とは考え方や、思惑を調べることであつて参考程度のもの。春日部との合併を否決した杉戸町を入れるのはいかがなものか。最終的には住民の意向を仰ぐ住民投票は必要。

住民投票と意向アンケート調査の違いは。意向調査は考え方を確かめるもの。投票でなく郵送され、○をつける。不正も出ることもある。住民投票は選挙と同じで自分自身で○をつける。また、選挙管理委員会が責任をもって管理する

個人を持つ権利の行使であるので性質が異なる。

住民投票のメリット・デメリットをどのように考えるか。

メリットとして、住民の総意を判断材料に議会が判断できるばかりでなく、住民が合併の是非に自ら参加できること。デメリットとして大衆的な判断で潮流みたいなものができ、それに流されるというポピュリズムは否定できない。賛成・反対どちらにも考えられるリスクであるが。

住民投票で決することは、議員としての責任を放棄し、住民に責任転嫁することではないのか。

住民投票制度は議会制間接民主主義を否定するものでなく、補完するものであり、すべての事を議会や行政に委ねている訳ではない。1票差という議会の状況のもとでは住民の最終判断が必要であり、そのほうが悔いは残らない。

## 反対です 討論

合併に関する住民の意思は既に調査済み

まちづくり基本条例26条第1項の解説に「住民投票制度は、地方自治制度の根幹である議会制民主主義を否定するものではなく、これを補完するものであると考え、自治の仕組みとして条例に位置付けました」と記されているとおり、住民投票は、町議会および町長が町政について判断を行う際の判断材料を得るために行うものとなる。

今回の合併に関する住民の意思は、平成19年11月に行った住民意向アンケート調査により、十分に把握できたものと考えられる。

その結果は、77・1%の住民が合併を望み、その内の55・1%が「春日部市を含む枠組み」と回答しており、これが宮代町の住民の意思でということになる。

## 賛成です 討論

合併の是非は「住民投票」で

地方自治法で定める代表民主制のもとに選出された議員は、種々の政治課題について調査、勉強し、相反する意見が存在する中で実質的な議論を行っている。その議会議定が、地方自治体の意思である。今回の合併に関する決議では、住民の民意を十分に考慮、尊重し、慎重に検討した上で、平成20年9月議会において「1市2町合併推進の決議」がなされてもいる。

従って、再度、住民の意思を問う必要性はないものと考えられる。

合併は町の将来を左右する重要案件

# 反対 討論 賛成

平成16年に春日部市を中心とした1市3町の合併の是非について住民投票を実施しており、今回実施しない理由は見当たらない。

今回の請願署名者の中には合併賛成・反対・慎重論等々町民の思いが込められている。議会は、この町民の声を無視する訳にはいかない。議会の真価を示す意味で住民投票実施の請願書に真摯に心えるべきである。

## 意見書

### ●保育制度の充実を求める意見書（全会一致で可決）

現在、政府の地方分権改革推進委員会や規制改革会議などで、保育所の直接契約制度の導入や保育スペースなどの最低基準の見直しなど保育制度改革論議が進められている。政府においては、子どもの立場に立ち、保育の質を守るため、次の4項目について強く要請する。

- ① 検討に当たっては、自治体及び保育団体との意見交換を十分行い、理解を得ながら進めること。
  - ② 量の確保以上に質の担保が必要不可欠である点を踏まえること。
  - ③ 次世代育成支援策を拡充するための安定した財源を確保すること。
  - ④ 保育料の負担軽減の検討。安易に負担金徴収を現場の保育所に委ねることのないよう配慮すること。
- 送付先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣





### 公営介護・保育所一体型施設建設を 民間の力を最大限活用し事業展開する

飯山直一 議員  
(新世クラブ)

(問) 政府は高齢者の介護と子供の保育を一体で手掛けるモデル事業を始め、09年度中に3000か所に広げる。  
「六花」のような、一体型施設を1万人に1か所程度つくり、介護難民を救済する自治

(答) 健康福祉課長 介護と保育を一体的に手掛けるモデル事業は、職を失った非正規雇用労働者へのセーフティネットの充実と、政府・地方自治体による緊急の雇用創出策としての事業。  
まず宮代町の高齢者や失業者の状況把握や必要とされる介護サービス内容などの地域性をふまえた上で、今後どうあるべきか検討を考えている。

(問) 町に失業者は相談に訪れているか、就職以外は。  
(答) 産業建設課長 失業を原因とした労働相談はない。自己都合により離職した方の生活相談が1件あり、社会福祉協議会の「福祉資金」の貸付けを行った。  
短期雇用は、緊急雇用創出事業を活用し、古文書・民俗資料整理が県の採択を受けている。新しい村でも春の農作業に3人の短期雇用を予定。

公営介護・保育所一体型施設の増設を



「定額給付金」で町内商工業の活性化を……



野口秀雄 議員  
(無党派)

### 「定額給付金支給」に 町はどう取り組むのか 地元にも有効に還元できるように作業を進める

(問) この度の「定額給付金支給」については、各自治体ともに、確実にスピーディーな支給となるよう努力をしているが、宮代町の取り組みは。  
(答) 総務政策課長・産業建設課長 国から提示された基準

に基づいた2月1日現在、町の対象者数は、3万3606人、給付金の総額は、5億355万円、事務費の総額は、2184万円と試算している。対象者の内訳は、18歳以下は、4958人で9916万円、65歳以上は、7562人で1億5124万円、それ以外は、2万1096人で2億5315万円となっている。事務経費については、全額、国からの補助金で賄われることから、雇用など有効に地元へ還元していく。

(問) 小中学校を対象に実施された「全国体力テスト」の結果を町はどう捉えているか。  
(答) 教育長 当町の子どもの体力は、良好と考えている。特に、「早寝、早起き、朝ごはん」の啓発は、各学校に根付いてきている。  
調査の分析を生かし、子どもたちが思いきり体を動かす基礎づくりに取り組んでいる。

# 町政をただす

一般質問は、13人の議員が登場し、合併問題をはじめ、経済・雇用対策、教育問題、定額給付金に関する問題など41項目にわたり、町の考えをたどりました。  
ここに掲載したものは、質問・答弁ともに質問者が507字以内にまとめたものです。



## 一般質問項目一覧 (通告順)

### 1. 野口 秀雄 議員

- ① 「定額給付金支給」 町の対応は
- ② 「全国体力テスト」の結果をどう生かすのか
- ③ 「浄化槽の法定検査」の実施状況は

### 2. 飯山 直一 議員

- ① 公営介護・保育所一体型施設
- ② 失業者対策
- ③ 合併研究会中間報告

### 3. 庄司 博光 議員

- ① 宮代町の財政
- ② 定額給付金
- ③ 学校給食
- ④ 乱開発抑止

### 4. 中野 松夫 議員

- ① 定額給付金支給の体制
- ② 学校給食の食べ残しと給食時間の配分
- ③ 小児救急医療

### 5. 加藤 幸雄 議員

- ① 後期高齢者医療および国保
- ② 介護保険見直し

### 6. 丸藤 栄一 議員

- ① 暮らしと雇用を守る取り組み
- ② 中小企業の仕事確保について
- ③ 1市2町の合併問題

### 7. 石井 眞一 議員

- ① 宮代町の防犯活動
- ② 学校応援団の組織化
- ③ 定額給付金
- ④ 合併のスケジュールと今後の展開は

### 8. 角野 由紀子 議員

- ① 75兆円規模の総合的経済対策と町政
- ② 学習指導要領

### 9. 加納 好子 議員

- ① 中心市街地活性化計画策定から8年の総括
- ② 「TMO」事業および拠点「るーばん」開設から丸3年の総括
- ③ 図書館協議会
- ④ 市民サービスのポイント
- ⑤ 国の第2次補正関連
- ⑥ 教育 — 社会科副読本

### 10. 柴崎 勝巳 議員

- ① 平成21年度予算
- ② 合併問題に関わる当面する課題
- ③ 合併問題

### 11. 関 弘秀 議員

- ① 安心・安全

### 12. 小河原 正 議員

- ① 経済・雇用対策
- ② 合併
- ③ メタボ健診
- ④ 学力テスト開示

### 13. 唐沢 捷一 議員

- ① 交通安全対策
- ② (株)TMOみやしろ
- ③ 春日部市、杉戸町との合併





丸藤 栄一 議員  
(日本共産党)

### 宮代町の4事業の 実施時期や優先順位は 優先順位はつけていない

**(問)** 広報2月号に合併研究会の素案が公表されたが、町民に誤解を与えないか。  
**(答) 副町長** あくまで行政として合意した素案であり、地域別の4事業についても、法定合併協議会での決定を待た

**(問)** 広報2月号に合併研究会の素案が公表されたが、町民に誤解を与えないか。  
**(答) 副町長** あくまで行政として合意した素案であり、地域別の4事業についても、法定合併協議会での決定を待た

**(問)** 合併研究会の中間報告が各自治体広報の2月号に掲載  
**(答) 副町長** 春日部市には、



介護保険は、高齢者にとって安心できる制度に！



加藤 幸雄 議員  
(日本共産党)

### 介護保険、見直しの中身は 65歳以上の保険料据え置き

**(問)** 介護保険は、制度見直しの上、4月から4期に入る。  
①町では65歳以上の方の保険料を据え置く方針だが、その検討の説明を。  
②今後、介護サービス給付の方向はどうか。  
**(答) 副町長** 研究会素案でも、

**(問)** 介護保険は、制度見直しの上、4月から4期に入る。  
①町では65歳以上の方の保険料を据え置く方針だが、その検討の説明を。  
②今後、介護サービス給付の方向はどうか。  
**(答) 副町長** 研究会素案でも、

**(問)** 春日部市議会の全員協議会では、「法定合併協議会は人口割で」という声もあるようだが、編入合併という中で、宮代町の意見が反映される保証はあるのか。  
**(答) 副町長** 今まで埼玉県の例で編入合併が5市あり、いずれもメンバー構成は同じ比率で行っている。町としてもあくまでも対等の構成比率でやれるものと思っている。



中野 松夫 議員  
(新世クラブ)

### 小児救急医療、町の対応は 「六花」などと安心の医療体制を確保

**(問)** 小児救急医療で、日頃の備えや運用など町の対応は。  
①救急医療の体制、医療機関に関する周知は。  
②「子どもの救急ミニガイドブック」など啓発資料の配布や周知は。町独自の資料

**(問)** 小児救急医療で、日頃の備えや運用など町の対応は。  
①救急医療の体制、医療機関に関する周知は。  
②「子どもの救急ミニガイドブック」など啓発資料の配布や周知は。町独自の資料

**(問)** 小児救急医療で、日頃の備えや運用など町の対応は。  
①救急医療の体制、医療機関に関する周知は。  
②「子どもの救急ミニガイドブック」など啓発資料の配布や周知は。町独自の資料

**(問)** 小児救急医療で、日頃の備えや運用など町の対応は。  
①救急医療の体制、医療機関に関する周知は。  
②「子どもの救急ミニガイドブック」など啓発資料の配布や周知は。町独自の資料



新たな歳入を生む道仏地区土地区画整理事業



庄司 博光 議員  
(新世クラブ)

### 合併が破綻した場合、 都市計画税を予定か 都市計画税の導入を早期に決定したい

**(問)** 「中期財政推計」を見ると平成23年度には、財政調整基金が残高不足に陥るとされている。  
今回の1市2町の合併が破綻した場合、今までも増して行財政改革に取り組み必要や啓発は。  
③福祉医療センター「六花」の周知、休日、夜間の体制、対応は。  
④新規転入者に対し、宮代地域の小児救急医療体制の案内は。

**(問)** 「中期財政推計」を見ると平成23年度には、財政調整基金が残高不足に陥るとされている。  
今回の1市2町の合併が破綻した場合、今までも増して行財政改革に取り組み必要や啓発は。  
③福祉医療センター「六花」の周知、休日、夜間の体制、対応は。  
④新規転入者に対し、宮代地域の小児救急医療体制の案内は。

**(問)** 「中期財政推計」を見ると平成23年度には、財政調整基金が残高不足に陥るとされている。  
今回の1市2町の合併が破綻した場合、今までも増して行財政改革に取り組み必要や啓発は。  
③福祉医療センター「六花」の周知、休日、夜間の体制、対応は。  
④新規転入者に対し、宮代地域の小児救急医療体制の案内は。

安心のまちで、すこやかな成長を







### 集会所の補助制度は継続されるのか 春日部市にあわせるが法定協で最終決定

柴崎勝巳 議員  
(無会派)

(問) 集会所の借地料の固定資産税分や修繕費の補助制度は春日部市と合併しても継続されるのか。  
(答) 総務政策課長 合併研究会における合併協定項目の素案では、住民サービスに関

(問) 農村地域の小さな事業は、合併した場合着手されない可能性が高いため、合併前に全整備しておくべきではないか。  
(答) 産業建設課長 事務事業の調整の考え方として「統一基準を策定し、地域による格差が生じないように整備計画を策定する必要がある」との

(問) 合併研究会で議論が沸騰した事項があったか。  
(答) 副町長 議論の過程を紹介することは差し控えたい。

地域コミュニティのよりどころ「集会所」



テナントはやっとまった!

### 中心市街地の店舗の増減は 2001~2008年で67店舗減った

加納好子 議員  
(無会派)

(問) 中心市街地活性化基本計画策定から8年、この指定エリア内の店舗の増減は。  
(答) 産業建設課長 商業統計調査によると、2001年~2007年度末の速報値で、281事業所から234事業

所へと47の減である。さらに、2008年度の商工会の調査で、20事業所の減との報告を受けている。合計67の減。  
(問) 目的は達成されたか。  
(答) 産業建設課長 中心市街地においては、(株)TMOみやしろのミックステナント事業を始めとした顔プロの「四季の丘」スキップ広場整備、イルミネーション事業など一定の成果を上げている。  
(問) 「るーばんみやしろ」の設立目的は何か。目的は達成されたのか。  
(答) 産業建設課長 「るーばん

は、TMO事業の事業展開を図る拠点であり、顧客の回遊性の向上などによる賑わいの創出を図るのが目的。「るーばん」スタート後、すぐにキーテナントの早期撤退があり、経営的には順調でなく目的達成されたと判断できない。  
(問) 住民は、TMO事業を、町が関わっている事業だと思っ



角野由紀子 議員  
(公明党)

(問) 国では、切れ目なき総合経済対策が打ち出されている。早急に実施できる環境を整えてもらいたい。景気後退の波が押し寄せている認識は。  
(答) 産業建設課長 中小企業・小規模事業者の資金繰りなど

(答) 健康福祉課長 400人とし、一人あたり、3万6000円で1440万円が交付される。定額給付金と連動させ、広報を十分活用し、周知徹底を図る。  
(答) 健康福祉課長 14回の公費負担の拡充を行うもので、

緊急雇用創出事業は  
(答) 産業建設課長 「古文書・民俗資料活用整理事業」約267万円で4名を新たに雇用創出できるようにする。

定額給付金受付スタート!



有料化、再整備予定の東武動物公園駅西口駐輪場

### 宮代町の防犯活動、犯罪低下対策は 防犯対策を備えた町駐輪場の有料化再整備

石井真一 議員  
(町友会)

(問) 宮代町の防犯活動、犯罪低下対策は。  
(答) 町民生活課長 特に自転車盗が多いことから、①町無料駐輪場を防犯対策を備えた有料駐輪場(場所の固定、チェーンロック・青色蛍光灯)

今後6月補正で計上予定。  
地域活性化生活対策交付金は  
(答) 総務政策課長 21年度当初予算では見送らざるを得なかった町道の道路整備事業について、財源確保が可能となった。西原の378号線、国納の630号線の道路整備、宮東の18号線の舗装修繕に活用する。

よび護身対策の徹底。③1戸1灯運動の推進。  
(問) 1市2町の合併に関する住民投票の是非は。  
(答) 町長 住民投票は間接民主主義を補完するもの。現状の選挙で選ばれた町長、議員が判断できない場合に取ることでできる手段の一つ。現状では首長、議員、住民それぞれの意思は明確。住民投票を行う必要はないと判断する。議会、住民の立場で住民投票を実施する提案することは、それぞれに与えられた権利で、否定するものではない。

### 総合的経済対策と町の取り組みは

3月補正に計上したが、6月にも予定する



### 一部事務組合の平成21年度予算

## 久喜地区消防組合

**28億7469万円**  
(前年度比1.3%減)

▼構成  
久喜市、鷲宮町、菖蒲町、栗橋町、宮代町の1市4町

▼主な収入  
1市4町の負担金 26億9198万円  
(宮代町は4億9054万円)

▼主な支出  
宮代町消防団費 1860万円  
宮代消防署関係 1860万円  
消防ポンプ自動車 CD-1型 1368万円  
購入費 1368万円

## 広域利根斎場組合

**2億1944万円**  
(前年度比6.3%増)

▼構成  
加須市、久喜市、幸手市、騎西町、北川辺町、大利根町、菖蒲町、栗橋町、鷲宮町、宮代町の3市7町

▼主な収入  
3市7町の負担金 8000万円  
(宮代町は592万円)

施設使用料 9600万円

## 久喜宮代衛生組合

**17億7400万円**  
(前年度比6.6%減)

▼構成  
久喜市、宮代町の1市1町

▼主な収入  
1市1町の負担金 16億1010万円  
(宮代町は5億3670万円)

▼主な支出  
塵芥処理費(ごみ処理費)が 9億3792万円  
うち委託料 8億2903万円



HDMシステム (生ごみ減量化および堆肥化処理施設)



開通後の交通安全対策を!



唐沢捷一 議員  
(町友会)

### 新橋通り線開通に伴う 交通安全対策について

(問) 新橋通り線開通に伴って問題点が生じたか。また、町道のバリアフリー化の進捗よく状況などを聞きたい。

(答) 町民生活課長・産業建設課長 開通により交通渋滞が緩和された。特に東小脇の五

差路対策として路面標示などを行った。今後も町と警察、県土整備事務所と連携して交通安全に努めたい。町道のバリアフリー化は、動物公園駅(西口)周辺は全て完了した。

TMOみやしろ(市)

(問) TMOみやしろは中心市街地活性化法に基づいてスタートした。その後の運営状況を聞きたい。

(答) 産業建設課長 その後の経営内容の報告はない。また改装などについて株主への説明はされていない。今後、町は出資者の一員として応援し

ていきたい。

春日部、杉戸との合併は

(問) 合併に向けての作業が進み基本的事項が示された。この内容は町民に理解されるか。また、町長は秋の町長選挙を控えての決意を聞きたい。

(答) 町長 基本的事項は町民に理解されると思う。法定協設置前に町民に説明したい。私の任期は今年10月16日であるので合併に向けて全力をつくす。今後、春日部市、杉戸町との調整を進め、早期の合併法定協設置に努力したい。



大落古利根川の土手崩壊進む



関 弘秀 議員  
(公明党)

### 古利根川の土手崩壊危険への 取り組みは 県との連携を図っていく

(問) 大落古利根川の土手崩壊危険への対応・取り組みは。

(答) 産業建設課長 堤防の窪みを利用し、釣座としている箇所もいくつか見受けられるが、埼玉県総合治水事務所を確認したところ、河川の構

造上は堤防に影響が出る範囲ではないが、「川の国埼玉」の実現に向けて、清流の復活や安らぎと賑わいの空間創出を目指し、定期的な河川パトロールを実施。堤防に影響が出る場合や危険と判断した場合は、ただちに修繕で対応するとの事である。町としても安心して水辺に親しめるよう県と連携を図っていく。

(問) 東武鉄道春日部研修区車両基地において、平成12年回送車両の暴走があり、その後もあったが、これらの事故に対し町の今後の取り組みは。

(答) 町民生活課長 事故以降、安全対策として、構内電車留置線の車止めを「砕石積構造」に改修、停車位置の手前20mに「一旦停止標」の設置、その手前に15kmの制限速度標の設置、また運転士への継続的な指導・教育の実施、平成21年にはATS装置の設置を計画している。町としても防災計画に鉄道事故の予防対策・事故対策編も定め、東武動物公園駅長に防災会議委員として参加いただいております。情報交換を綿密にし事故の再発防止に努めていく。

### 学力テスト開示の判断は

### 開示にかなり近い形で実施

小河原 正 議員  
(無党派)

(問) 全国学力テスト結果をめぐって、不開示とした県教育委員会に県情報公開審査会は原則公開すべきと答申したが、宮代町教育委員会の判断は。

(答) 教育長 本年度も本町の小学校6年生・中学校3年生

はともに全ての教科で、全国および埼玉県平均正答率を上回る良好な結果であった。大事なことは、教育委員会、学校が自らの教育の結果を把握すると同時に、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、教育指導や学習状況の改善に役立てることである。

結果を公表すべきかどうかは、各学校に任せてあり、必要があれば既に数値を各保護者に情報を提供しているのので、開示にかなり近い形で行っていると認識している。

経済・雇用対策は

(問) 宮代町の雇用対策と商工会と連携した経済対策は。そして、中小企業向け融資の利子補給の検討結果は。

(答) 産業建設課長 雇用対策は、緊急雇用創出事業を活用し、古文書・民俗資料整理活用事業を実施する。さらに、追加公募も県と調整中である。経済対策は、プレミアム商品券事業を商工会と町が一丸となって取り組んでいく。中小企業融資の利子補給は、緊急的な措置として利率2.0%から1.7%へ下げ、即効性のある対応をしていく。

### 目指す学力向上

